

平成30年度

第2回長崎県教科用図書選定審議会

【議事録】

平成30年5月18日(金)
13:30~15:30
長崎県庁3階 311会議室

長崎県教育委員会

開催日時	平成30年5月18日(金) 13:30~15:30
開催場所	長崎県庁3階 311会議室
会の成立確認	長崎県教科用図書選定審議会規則第4条2に基づき、委員20名中18名の出席により会の成立を確認。 (委員) 公正確保の観点から秘密会としてはどうか。 (委員) 異議なし。
会長挨拶	(略)
審議開始	(会長) 審議に先立ち、前回審議した選定資料作成に係る作成方針・作成要領等について確認をしたい。
事務局説明	(事務局) 選定資料の作成方法・作成の要領等について事務局説明 (会長) このことについて、質問や意見はないか。 (会長) 選定資料案の観点一覧「3共通観点」(1)と(2)に「挿絵」の表記があるが、どちらにも必要か。 (事務局) 意図が異なるため両方に必要である。 (会長) 他に質問や意見はないか。 (委員) 特になし。 (会長) これより、実際に教科書を閲覧する時間を30分ほど設ける。各委員は選定資料案と見比べながら、教科書を閲覧してほしい。
教科書閲覧	【 教科書の閲覧 】 (会長) 審議の進め方について確認したい。まず、各教科書の特長を簡単にまとめた「補助資料」があるので、それについて事務局から説明を受けたい。その後、選定資料案の内容を細かく見ていきたい。

<p>事務局説明</p>	<p>(委員) 異議なし。</p> <p>(会長) では、事務局から補助資料について説明してほしい。</p> <p>(事務局) 補助資料について事務局説明</p> <p>(会長) 補助資料について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 特になし。</p> <p>(会長) 続けて、事務局から選定資料案について説明してほしい。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>(事務局) 選定資料案について事務局説明</p>
<p>審議 (観点1(1))</p>	<p>(会長) それぞれの特長を踏まえ、選定資料案のA者からH者まで観点ごとに見ていきたい。表現についてもよく見ていただきたい。 はじめに、観点1(1)について質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 観点1(1)について、C者とD者には、多面的・多角的に考えることが配慮されているとあるが、観点2(4)にも多面的・多角的の言葉が用いられている。この多面的・多角的という言葉は「特別の教科 道徳」において大切にされているようだが、全発行者において教材ごとに学びをふり返るページが設けられており、多面的・多角的に考える工夫が見られるようだ。よって、C者とD者だけに取り立てて書く必要があるのか。</p> <p>(委員) 多面的・多角的という表現に着目すれば、B者、G者、H者にもあり、8者中5者において表現されている。しかし、観点1(1)は、道徳の特質について広くみるものであることから、その中でも特に特徴的なこととして表現されている。</p> <p>(会長) それでは原案のままでよろしいか。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>(委員) D者、G者に「重点を置き」、F者に「重点テーマ」という表現があるが、その表現は適切なものなのか。</p>

(観点1 (2))	<p>(事務局) 調査員が教科書を綿密に調査した結果である。また、教科書の趣意書も見ながら議論してきたので、この表現で妥当と考えている。</p>
	<p>(委員) 「重点」という言葉がなくても表現できるのではないか。また、「重点」と表現することが適切であるのか。</p>
	<p>(会長) 「重点」の用い方については、事務局で再検討をお願いしたい。検討の結果については、私に確認を任せさせていただきたいがよろしいか。</p>
	<p>(委員) 異議なし。</p>
	<p>(会長) 併せて、H者の冒頭が、「人間としての生き方」と、他者と比べて大きくくりな表現なので、「重点」とともに事務局で再検討してほしい。</p>
	<p>(会長) 次に、観点1 (2) について審議をお願いしたい。</p>
	<p>(委員) 先ほど説明があった「補助資料」では、C者のみ観点1に該当することを取り上げているが、他者と同様に観点2からも取り上げる方がよいのではないか。</p>
	<p>(事務局) 「補助資料」については、教科書の特長を概略説明するための資料であり、各採択地区へ提供するものではない。</p>
	<p>(会長) 可能であれば、観点2からも取り上げたほうが資料のバランスとしてもよかったと考える。 他に質問や意見はないか。</p>
	<p>(委員) 「紹介」、「掲載」、「使用」の言葉の使い分けについて説明願いたい。</p>
	<p>(事務局) これらの言葉の使い分けについては、特に意識したものではないので、統一する方向で修正したい。</p>
	<p>(会長) F者のみ「さだまさし氏」となっているので、他者と同様に「氏」の表現を省いたほうがよい。</p>
	<p>(委員) A者のみ項立ての「・」が2つあるので、全て一つに揃えたほうが</p>

<p>(観点2 (1))</p>	<p>よい。</p>
	<p>(事務局) 指摘のとおり、修正したい。</p>
	<p>(会長) 次に、観点2 (1) について審議をお願いしたい。</p>
	<p>(委員) B者「四つの視点」、D者「四つのまとめり」、H者「内容項目ごとに教材を配列することで指導時期を選択しやすくする」とあるが、B者については「内容項目のまとめりを示した四つの視点」、D者については「四つの時期」、H者については「内容項目ごとに教材を配列することで指導時期や順序を工夫しやすくするとともに」と表現した方が分かりやすいのではないか。</p>
	<p>(会長) B者の「四つの視点」というのは、内容項目のまとめりに四つの視点对応させていることが分かるような表現にした方がよいだろう。</p>
	<p>(会長) D者の表現についてはいかがか。</p>
	<p>(委員) 「年間を四つのまとめりに」と読めば分かるのでそのままでよい。</p>
	<p>(会長) H者の「指導時期を選択しやすくする」とは、指導の順序のことなのか。</p>
	<p>(委員) 「指導の時期や順序を工夫しやすくする」とした方が分かりやすいのではないか。</p>
	<p>(事務局) 指摘のとおり、表現を修正したい。</p>
<p>(観点2 (2))</p>	<p>(会長) 次に、観点2 (2) については、取り上げられている人物が異なるだけで、ほぼ同じような表現となっているので審議は省略してよろしいか。</p>
	<p>(委員) 異議なし。</p>

<p>(観点2(3))</p>	<p>(会長) 次の観点2(3)は、指導の在り方に関わる内容なのでよく見てほしい。</p> <p>(委員) 指導方法に関する事で、8者のうち2者については、別冊のノートがある。この特長については、観点3(3)「体裁やレイアウト」に取り上げているが、観点2(3)でも取り上げる必要はないのか。</p> <p>(事務局) 別冊のノートがある2者以外にも、教科書の中に書き込みができるようなページが設けてあるので、別冊のノートの有無が問題解決的な学習や体験的な学習等の指導方法の工夫に大きく関係しないと判断し、観点3(3)で取り上げている。</p> <p>(委員) G者とH者にのみ「対話」の表記が見られるが、何か意図があるのか。他者と同じように「話し合い」としてはどうか。</p> <p>(事務局) 特に意図はないので、指摘のとおり「話し合い」と表現したい。</p> <p>(委員) H者について、「ページ」ではなく「コーナー」の表現が適切なのではないか。</p> <p>(事務局) 特に差し支えないので、「コーナー」に修正したい。</p>
<p>(観点2(4))</p>	<p>(会長) 次に、観点2(4)について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 文末表現で、「考えられるよう配慮されている。」「考え方ができるよう配慮されている。」の違いがあるが、何か意図があるのか。</p> <p>(事務局) 特に意図はないので、統一できる表現については、統一する方向で修正したい。</p>
<p>(観点2(5))</p>	<p>(会長) 次に、観点2(5)について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) この観点は、どのような内容なのか説明してほしい。</p>

(事務局) 国際的な課題も含め、現代的な課題をテーマとする観点である。

(委員) 「 」の使い方をみると、D者はコラムの名前に付けてあり、他者は現代的な課題に付けてある。現代的な課題の「 」については、付けなくてよいのではないか。

(事務局) 「 」については、特別の名称に付け、その他は読点で並べている。事務局の方で再度整理したい。

(会長) B者の「五輪教育」という言葉は、教育用語として認知されているのか。

(事務局) 東京オリンピックも控えており、徐々に認知されていると考える。

(観点2(6))

(会長) 次に、観点2(6)について審議願いたい。

(委員) C者は「 」付きで「補充教材」とあるが、その意味を説明してほしい。

(事務局) この巻末に掲載されている教材という意味で「 」を付けている。巻末の「補充教材」の表現に修正したい。

(委員) A者とB者では、家族愛、郷土愛に「 」が付いていたり、付いていなかったりするが、表現の違いに意図があるのか。

(事務局) 一般的な表現なので、「 」を付けないことで統一したい。

(観点3(1))

(会長) 次に、観点3(1)について質問や意見はないか。

(委員) 「学年に応じて」と「発達の段階」の使い分けについては、何か意図があるのか。

(事務局) 中学校における段階を示したいので、「学年に応じて」の方に表現を統一したい。

(委員) E者の「参考資料」とF者の「補助資料」の使い分けについて説明してほしい。

(事務局) E者の「参考資料」は、学習した内容をより理解するためのコラム等のことで、F者の「補助資料」は、学習を深める過程で使用する補助的な資料のことである。

(会長) それでは、E者は「参考資料」でよいかと思うが、F者は「補助的な資料」としてはいかがか。

(事務局) そのように修正したい。

(会長) B者の「口語表現」については、「会話表現」と標記するほうがよいのではないか。

(事務局) 「会話表現」に修正したい。

(観点3(2)) (会長) 次に、観点3(2)について質問や意見はないか。

(委員) 特になし。

(観点3(3)) (会長) 観点3(3)について質問や意見はないか。

(委員) 中学校の教科書のサイズほどのサイズが多いのか。

(事務局) 「特別の教科 道徳」の教科書では、B版やAB版、A版がある。

(委員) 他教科の教科書も同様に、様々なサイズがある。

(会長) 他に質問や意見はないか。

(委員) 特になし。

<p>答申について</p>	<p>(会 長) それでは、以上で審議を終了する。この後、私が責任もって修正箇所を確認を行い、県教育長に答申することによろしいか。</p> <p>(委 員) 異議なし。</p>
<p>審 議 終 了</p>	<p>(会 長) 以上をもって、本年度の審議会を終了する。</p>